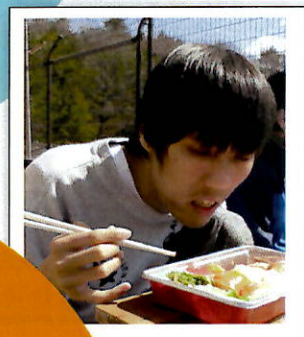


3月3日

ぼれガーデンでお寿司を食べました。いつもと違う雰囲気の中、みなさん美味しそうに食べられていました。食後に3種類のデザートから好きなものを1つ選んで食べました。選んでいただいた時の真剣でとても嬉しそうな表情は生き生きとしていました。(植月悠乃)



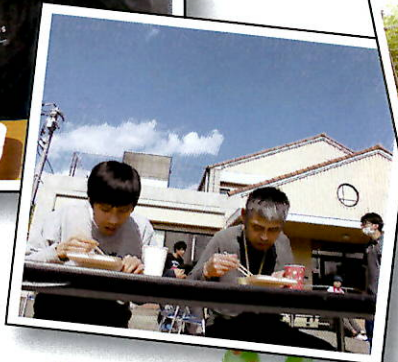
5月3日

GW中の気持ちの良い青空の下、ぼれぼれ駐車場にて、出来たてのたこ焼きをみんなで美味しく頂きました！ (岡本航)

# ぼれぼれの友

## 41

2021.07.01 発行



## 安全で健康な生活に向けて

業務執行理事 高松屋暢克

新型コロナウイルスの脅威が広がっています。この深刻な事態に全力を挙げて取り組むことが緊急、かつ最大の課題になっています。

この1年余り、実に多くのことがありました。昨年2月から5月にかけて利用者の帰宅や家族との面会の自粛をお願いしたほか、利用者と家族がともに楽しむ焼肉会やクリスマス会、小旅行などの行事が相次いで中止となりました。

施設内では職員の出勤時の検温の徹底、消毒液の携帯と使用、換気の徹底、外来者の制限などを行い、感染防止に取り組んできました。しかし、昨年11月、職員2人の感染が判明しました。体調不良の申告を受けて看護師さんが直ちにPCR検査の受診を手配し、利用者、職員全員の検査を行った結果、他に感染者はないことが確認されました。対応が遅ればばクラスター（感染者集団）につながる危険がありました。早期の申告と的確な措置は施設、職員の危機管理能力の高さを示すものでした。

新年度の事業計画では、新型コロナの感染防止、クラスターの発生回避に施設・職員が力を合わせて取り組むことを重点課題とし、利用者の健康とQOL(生活の質)向上に向けて多様な活動の展開を図っていくことにしています。

新型コロナの行く先はまだ見えません。これからも緊張の日々が続きます。しかし、出口のないトンネルはないといいます。みんなが安全で健康かつ充実した生活が送れるよう手を取り合って進んでいきましょう。

## 仕事と育児の両立

生活支援員 渡辺恵花

昨年12月末、育児休業から復帰し、短時間正規職員として働かせていただいています。皆さんの温かいご配慮とお心遣いのおかげで仕事と育児に専念することができ、感謝しています。家事・育児・仕事の両立は想像以上に大変で、目まぐるしい日々ですが、我が子はもちろんのこと、利用者の笑顔や元気に励まされ、頑張ることができています。また、先輩ママさんも多数働かれており、仕事だけではなく、子育ての悩みや相談にも気さくに応じて下さり、とても働きやすい職場だと感じています。子どもの体調不良で急な欠勤や早退をすることもあり、職場には多々ご迷惑をおかけしていますが、出来ることは精いっぱい頑張りたいと思っています。宜しくお願い致します。



## 三度の出産と仕事

生活支援員 植月悠乃

1人目を妊娠してから様々なことがありました。

まず産休に入るまで今まで通りの勤務だったのでつわりで吐いたり、お腹が重くて足がつったりと身体の変化に戸惑いました。また初めての出産で不安もありました。出産後も慣れない育児で何度も心がくじけそうになりました。それでも1年後には職場復帰を果たしました。しかし慣れない生活リズムでめまいなどの身体の不調や子どもの病気などで仕事を休まざるを得ず、度々職場に迷惑をかけてしまいました。「申し訳ない」と伝えるたびに「小さい子どもが風邪を引きやすいのは当たり前、みんな通った道、お互い様」と言ってフォローしてくれました。

そんな素敵な仲間と囲まれて、現在も3人の子育てをしながら、短時間正規職員として働いています。

## 職員の抱負

ぼれぼれに勤め始めて、この9月で2年になります。

初めのうちは右も左もわからず、何度も失敗も重ねてご迷惑をかけました。それでも、仕事の内容を先輩職員、時には利用者さんから教えてもらいながら、何とかここまでこれました。支援の難しさに悩むこともありました。支えてくれたのは先輩職員や利用者さんでした。林道ウォーキングにしてもついて行くのがやっとなで、元気よく歩く利用者さんを見て「(障害があるのに)こんな山道を凄いなあ」と感心しました。

勤めて一か月もしない頃、居室の掃除をしている時に利用者さんが「岡本さん、ありがとうございます」と、一生懸命伝えてくれて嬉しかったことを今でも忘れられません。その時の気持ちを忘れず、これからも仕事を頑張りたいと思います。

(生活支援員 岡本航)

## 新しい利用者様の紹介

表町分場 中山紅希様  
4月からご利用されています。  
これからよろしくお願ひいたします。

## 日中活動

今年度の日中活動では、全利用者の実態に合わせて活動を組む方法を考えています。具体的にはA班、B班、C班、D班の4班編成にします。各班には活動責任者を置き、活動についての現場の意見を吸い上げたり、活動内容を工夫したりできるようにします。そして、学校の時間割のように、乗馬療育、簡単な作業と粗大運動（ウォーキングなど）簡単な創作活動と粗大運動などを中心にした活動種を週単位で各班の日課に取り入れていきます。可能な限り活動の個別化や趣向に配慮しつつ、日々の生活にメリハリと充足感を抱いてもらえるよう工夫していきます。また、3ヵ月ごとに支援リーダーを中心にした話し合いの場を設け、確認と見直しを行います。（生活支援員 原聖子）



## クラブ活動

園芸クラブでは、園芸が好きな利用者の方を中心に、季節に合わせて様々な種類のお花と野菜を育てています。野菜はグラウンドにある畑やプランターに、お花は玄関前や門付近などに植えています。収穫した野菜は調理実習で使ったり、秋には落ち葉を集めて焼いもをしったりするなど、利用者の皆さんと楽しみながら活動をしています。今年度は花と野菜の種類を増やす予定で、より一層利用者の皆さんに園芸を楽しんでいただけるような内容の活動にしていきたいです。（事務員 杉山光希）

（事務員 杉山光希）



## 表町分場

「県庁アートギャラリー」（県庁1階展示室にて）が2月いっぱい開催され、利用者の作成した貼り絵を展示しました。たいへん好評いただいております。

令和3年度より、分場に新しい利用者が1名入られ、新鮮な1年のスタートとなりました。

コロナ発生からもう1年が過ぎました。できなくなってしまったことが多くありました。分場では、余暇活動でのレストラン利用やカラオケ、美術館への入場ができなくなっています。利用者さんには、我慢をしていただくこともまだまだあります。早くもとの生活に戻れることを願い、今後も感染対策を心がけていきます。

（生活支援員 永田晃）



## 栄 養 通 信

WHOが新型コロナウイルスの感染者を最初に確認してから約1年半が経ちましたが、未だ終息することなく猛威を振るっています。実際のところは終息後の検証による結果となりますが、重症化のリスク因子とされているのは免疫力が低下しやすい高齢者と基礎疾患のある者です。重症化あるいは感染予防対策の一つとして、偏りなくバランスの良い食事をよく噛んで摂り、免疫力を高めることがあげられます。

古くから東洋医学の考え方に『医食同源』という言葉がありますが、近年は『病気』と『エネルギーと栄養素』との関連性について科学的根拠を有するものが増えてきました。食事は利用者の皆さんの健康に寄与する大切なものだ改めて痛感します。それに携わる者として、しっかりと責務を果たしていきたいと思えます。

（管理栄養士 吉崎郁子）

## 健 康 通 信

コロナ禍での長い自粛生活で、心身共に体調を崩されている方はおられません。心身の不調は免疫力の低下にも繋がります。その免疫力を高める習慣として大切なことをいくつか挙げてみます。①適度な運動、②ストレスを溜めないこと、③体を温めること、④良質な蛋白質とビタミンA,C,Eを含むバランスの良い食事を摂ること、又アルコール（飲める人は）は少量なら良いとされています。「コロナが怖い」と家に閉じこもらず、時には外を散歩することも必要です。さあ、免疫力を高めて感染症に強い体を作りましょう。

ぼれぼれでも晴れた日には、利用者の方達の実態に応じたウォーキングを行っています。又、職員は日々の感染予防はもちろん、「ウイルスを持ち込まない」為に、各自が責任ある行動を取る様指導しています。

（看護師 久森正子）

# 令和2年度決算報告

令和2年4月1日～令和3年3月31日

資金収支計算書		
事業活動による収支	収入	218,850,000
	支出	189,158,790
事業活動資金収支差額		29,691,210
施設整備等による収支	収入	109,547
	支出	31,225,000
施設整備等資金収支差額		△31,115,453
その他の活動による収支	収入	3,000,000
	支出	1,500,000
その他の活動資金収支差額		1,500,000
当期資金収支差額合計		75,757
前期末支払資金残高		204,992,406
当期末支払資金残高		205,068,163

事業活動計算書		
サービス活動増減の部	収益	219,346,958
	費用	195,615,402
サービス活動増減差額		23,731,556
サービス活動外増減の部	収益	1,038,396
	費用	841,342
サービス活動外増減差額		197,054
経常増減差額		23,928,610
特別増減の部	収益	493,540
	費用	0
特別増減差額		493,540
当期活動増減差額		24,422,150
次期繰越活動増減差額		314,714,549

貸借対照表	
資産の部	
流動資産	221,704,679
固定資産	309,571,149
基本財産	194,071,296
その他固定資産	115,499,853
資産の部合計	531,275,828

負債の部	
流動負債	20,449,435
固定負債	17,271,695
負債の部合計	37,721,130

純資産の部	
基本金	41,112,994
国庫補助金等特別積立金	102,727,155
その他の積立金	35,000,000
次期繰越活動増減差額	314,714,549
純資産の部合計	493,554,698

負債及び純資産の部合計	531,275,828
-------------	-------------

## 寄付お礼 (順不同) 令和2年12月～令和3年5月

○ぽればれ家族会様 ○前原 勝治様 ○原 景子様 ○内田 安重様  
 ○松本 笑子様 ○本原 孝也様 ○小橋 弘正様 ○益本 隆雄様  
 ○西村 茂様 ○ふじ薬局備前店様 ○梶谷 勝彦様  
 お心遣いありがとうございます。



## 第三者委員会

令和3年2月に第三者委員会を開催しました。第三者委員の皆様より、評価とそれに伴うご意見やアドバイスをいただきました。その中で施設の取り組みとして足りていない部分や施設全体で改善していった方が良いところなどが見えてきました。

現場職員として第三者の意見を聞く機会はなかなかありません。こういった機会があることで、もう一度客観的に支援を見つめ直すことができ、利用者一人ひとりが「ぽればれにいて良かった」と思えるような施設になっていけば良いと思います。(支援リーダー 角原光貴)

## 令和2年度苦情受付報告

事業所	支援関係	個人の嗜好について	財産関係	その他	受付合計	解決	保留
和気本場	0	0	0	1	1	1	0
表町	0	0	0	0	0	0	0

## 理事会・評議員会報告

令和3年5月22日 理事会

令和3年6月12日 評議員会・理事会を開催いたしました。

理事及び監事、評議員の方が任期満了となり、議決により選任されました。

退任されました方には、長年にわたり施設に対し、ご理解、ご協力を賜り感謝申し上げます。

再任、新たに就任していただきました方には、今後ともより一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

評議員退任 神崎 壽美江様、奥山 進様

評議員就任 時本 一成様、入江 哲弘様

## 行事予定

7月28日	お涼み会	12月	クリスマス会
7月29日30日	健康診断	1月	健康診断
8月	納涼祭	2月18日	第三者委員会
9月～11月	施設旅行	2月23日	家族会奉仕活動
10月11日	焼肉会	3月19日	理事会
11月6日	理事会	3月	春の寿司

新型コロナウイルス感染症の状況によって、行事の見直しや変更等があり得ますのでご了承ください。

## 編集後記

ようやく日本でも新型コロナウイルスのワクチン接種が始まりましたが、もう暫く不自由で不安な生活が続きそうです。1日でも早い終息を願ってやみません。本誌の作成にあたり、ご協力くださった皆様へ心より感謝申し上げます。(吉崎郁子)